



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 長瀬栄二郎

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1243 回	58 名	57 名	46 名	—	80.70%
前々回 1241 回	58 名	57 名	50 名	0 名	87.72%

- 点 鐘
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 高山中央ロータリークラブ職業倫理基準
- ビジター・ゲストの紹介

●会長の時間



会長 村瀬 祐治

7 月 6 日 第一例会にて高山中央ロータリークラブ細則改正案（副幹事の追加・積立金について）提案し本日理事総会を開催するつもりでしたが、7 月 6 日理事会では 統一意見が見いだされなかったもので 7 月 13 日にも述べた

ように臨時総会開催を中止いたします。

30 周年記念事業については、**ミャンマーに学校を建てる事業変更を**いたします。

新生コロナウィルスの蔓延防止のため海外へ行くことができず 現地の情報が少なくなっております。高山中央 RC メンバーがウィルスワクチンや対応医療無い状況では現地に行く時期の見通しができない、すなわち事業ができないと判断して事業を取りやめといたします。今後は ミャンマーへの国際貢献事業は改めてグローバル補助金を使っての少額で最大効果が出る事業を模索して頂きたいと思っております。

不登校児童生徒への青少年奉仕について

高山市の現状は、毎年不登校の児童生徒が増加しており 小学生に比べ中学生の方が多くなっております。不登校になると 学校に登校しないので学習教育が受けられなくなりしたがって学力の低下につながり 高校進学ができにくく、結果義務教育修了証後、低年層の引き

こもり問題が社会問題となっております。

高山市の不登校の対応について

高山市教育委員会では、学校へ行けない、家から出られない・・・そういった悩みをもっている小・中学生が一步をふみ出すための力を培う場として、適応指導教室「であい塾」を設置しています。

また であい塾では、利用する小・中学生への学習を保障するために、その子に応じた内容や進捗で対応することを大切にされ、タブレットによる学習ソフトを使った個別学習は大変効果的だと考えておられます。

高山中央ロータリークラブとしてはこのような状況の中 学校へ通学できない児童生徒に義務教育の学習の保障をするために タブレットによる学習で基礎学を学ぶ機会を作り将来へ進む道を広げていく事業として必要であると考えており タブレットを 11 台寄贈し活用して頂きたいと考えております。

9 月 28 日 例会へ教育委員会より不登校の現状と取組について 卓話を頂きその後タブレットを寄付できるように事業を進めております。

予算

タブレットと関連ソフト（11 台分）

地区補助金 5,000 ドル

（106 円）530,000 円

事業費（高山中央ロータリークラブ負担金）
490,000 円

事業合計額 1,020,000 円

「不登校児童生徒」とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、学校登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間 30 日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しています。

● 幹事報告



幹事 岡崎 壮男

- ◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
- ・会員増強報告書 6 月分
- ◎国際ロータリー第 2630 地区濃飛グループガバナー補佐より
- ・第 2 回クラブ訪問について
- ◎ロータリー米山記念奨学会より
- ・ハイライトよねやま 244

◎ロータリーの友事務所より

- ・アンケート依頼

《会報》

- ・下呂 R C
- ・可児 R C
- ・美濃加茂 R C

《活動計画書》

- ・高山 R C
- ・下呂 R C
- ・可児 R C
- ・平塚湘南 R C
- ・高山西 R C
- ・美濃加茂 R C

● クラブアッセンブリー

* 会報/雑誌/広報/IT 委員会

委員長 岩本 正樹



副委員長に井ノ下さん、委員は、高木さん、長瀬さん、高橋さん、今井さんのメンバーです。活動計画は、会報誌は原則 A 4 版 2 頁とし委員が例会ごとに交代で作成します。担当例会 11 月 9 日 (月) は、グループ

ディスカッションを予定しています。内容は、ウイズコロナに即した会報/雑誌/広報/IT 委員会を考えるです。来年 3 月には、例年と同じように高山 3 R C 合同で高山市民時報にロータリー特集号を掲載いたします。

* 出席/プログラム委員会

委員長 内田 茂



出席プログラム委員会の内田です。現在の日本におきましては、ひだホテルの検温がおこなわれていることでもわかりますが、出席率は上げたい、コロナにはかかりたくないの板挟みだと

認識です。目標の数値は皆出席ということになりますが、出席率を上げることは、義務教育ほどは簡単ではありません。

また欠席した場合の、メイクアップも苦手という人が多いのではないのでしょうか? でも此の委員会があるということは、たぶん出席が

大事であることだと思います。高山中央ロータリーの出席率を意識して、頑張って伝統を造り上げていきたいものです。

* ニコニコ委員会

委員長 植木 眞吾



- 委員長 : 植木 眞吾
- 副委員長 : 和田 良博
- 委員 : 島 良明
- 古橋 ひと実
- 益田 大輔
- 奈木 尚美
- 今井 哲也
- 高原 龍士

基本方針は、会員、家族、事業について思う事をニコニコしながら発表し、会員全員で祝ったり、慰めたり、苦笑いしたりして例会の雰囲気盛り上げ、親睦に寄与すると共に集まったお金を奉仕活動資金とする事とします。

活動計画は、

- ① ニコニコ委員 8 名にて、例会ごとに担当して例会時にニコニコを読み上げます。
- ② 奉仕貢献が高い会員を表彰して記念品を贈呈します。(予算 15,000 円)
- ③ 目標額 60 万円に向けて、毎月委員もニコニコへ寄付すると共に、会員への増資をアピールします。

* 会員増強/会員選考委員会

委員長 長瀬 栄二郎



- 委員長 : 長瀬 栄二郎
- 副委員長 : 小出 貴博
- 委員 : 堀口 裕之
- 高原 武夫

劔田ガバナー年度でもある今年度、会員増強として力を入れて参りたいと思います。基本方針として、クラブの魅力積極的に発信し仲間を募っていきたくと考えております。現在は 58 名ですが、残念ながら 1 名の退会が予定されています。先般、ご推薦を頂きました 1 名について、会員の皆様からのご承認を頂きましたのでご入会頂けることを期待しつつ、この期末までに 60 名の会員数を目指すこととなります。会員の皆様、是非、高山中央ロータリークラブの魅力を皆さんに発信して頂き、積極的な会員候補者のご推薦を頂きましたら幸いです。本年度も皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

*職業奉仕委員会



委員長 熊崎 元康

本年度 職業奉仕委員会は副委員長さんに田中さん、委員に高原さん、津田さん 鶯塚さん、葛谷さん、委員長 熊崎の6名で活動いたします。

村瀬会長の意向によりコロナ禍の影響により会員相互の情報交換が大事と考え 基本方針を「ロータリーの重要課題の一つである職業奉仕について、再認識の機会を提供する」を中心に会員スピーチ例会を4回企画いたします。入会年度が浅い会員の方はじめ多くの皆さまに依頼したいと考えております。お願いしましたらご協力よろしくお願いいたします。また、AG訪問例会となる例会もありますので時間配分等ご理解ご協力重ねてお願い申し上げます。

*社会奉仕委員会



委員長 鶯塚 英雄

基本方針は「ロータリアンとしての社会奉仕活動に対する理解をさらに深め、地域社会との連携を強める」とし、高山において地域社会に貢献されている NPO 法人から講師をお迎えして卓話を頂く予定です。

*ロータリー財団委員会



委員長 益田 大輔

委員長の益田大輔です。副委員長に都竹太志さん、委員を谷口欣也さん、前越路子さん、高原武夫さんをお願いしております。基本方

針としては、ロータリー財団の理念や活動の理解と情報共有、地区補助金申請の仕組み、グローバルヘルスや国際協力関係の現状を学び、フィードバックすることです。例会は3回予定しており、9月14日にセミナーの報告を、10月12日に国際協力関係の卓話としてソマリアにおけるテロ・紛争解決のNPOアクセプトインターナショナルの永井陽右さん、12月14日にグローバルヘルス卓話として岐阜大学保健管理センター教授の西尾彰泰さんを予定しております。コロナウイルスにて設営方法は流動的になると思いますが、1年間宜しくお願い致します。

*米山記念奨学/国際奉仕委員会

副委員長 前越 路子(代理)



委員長：高木 純

委員：和田 良博

津田 久嗣

基本方針 ロータリー米山記念奨学会の目的・事業内容について理解を深め、寄

付金の意義を考え会員の協力を得ながら活動の継続と充実を図る。活動計画としては、10月19日(月)米山月間にあたり寄付の依頼と集金を行いますのでよろしくお願いいたします。また当日米山奨学生の卓話を予定しております。本年度の卓話は、ミャンマー国籍のMAYSWEETさんという26歳の女性を予定しております。岐阜大学の国学研究科電子情報システム工学を専攻しています。

来年2月8日(月)には、地区青少年交換委員 三枝祥一さんの卓話を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

*青少年奉仕/インターアクト委員会

委員長 下田 徳彦

今年度は昨年青少年奉仕委員会とインターアクト研究委員会の2つの委員会が青少年奉仕・インターアクト委員会というひとつの委員会となりました。副委員長に渡辺甚一さん、委員に周信夫さん、古橋ひと実さん、海老沢玲子さんの5名で活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

キーワードは「継続」と「連携」になります。これまでの活動を継続していくことと、青少年奉仕部門が連携できるような活動を推進していきたいと考えております。継続活動としては青少年奉仕では「出前講座」、インターアクトでは益田清風高校の下呂RCとの共同スポンサーとしての協力事業を行っていきます。連携活動としては、ポリオ撲滅募金をインターアクトの生徒の参加協力を得て実施したいと考えています。年間を通して3回の担当例会があり、青少年奉仕とインターアクトを対象とした卓話例会をそれぞれ1回ずつと来年5月の出前講座を例会として予定しています。但し今年度は新型コロナの中での活動となるため、対外的な活動は困難となると思いますので、状況に応じて臨機応変に対応していく所存です。

【高山中央RC 細則改正(案)について】
島 良明

7/6 に村瀬会長から出された「細則改定(案)」に対して、私は前回(7/13)の例会において「理事会」ではなく「審議委員会」を設置しメンバーの皆様の賛同を得て使用・運用が認められる様にしたらどうかと提案させて頂きましたが、本日追加案を出させて頂きます。皆様ご一考よろしくお願ひします。

<ニコニコ BOX>

7/20 に国土交通省中部地方整備局長より現場表彰および技術者表彰を頂きました。苦勞した現場でしたが嬉しい結果となりましたのでニコニコへ。
高橋 厚生

高山市からです。コロナ対策の医療支援官民共同プロジェクトに寄付を頂きありがとうございました。おかげ様で目標の1千万円を大きく超える事が出来そうです。
西倉 良介

禁煙をしてから一年半となりますが、体重が増えてゴルフも大変な状態です。先週から1kg減ったのでニコニコへ。
植木 眞吾

色々な事がありますが、本年度30年の連続出席が出来るよう頑張りたいと思います。皆様も例会出席よろしくお願ひ致します。
松之木 映一

